

逗子の景観まちづくり

瓦版

第九号

平成二十五年四月十二日

発行 景観フォトコンテスト実行委員会

編集 逗子市環境都市部まちづくり課

協力 NPO法人逗子の文化をつなぎ広め深める会

募集 逗子の景観スケッチや六百字以内の逗子の

景観に関するコラム等を募集しています。

二四九・八六八六

逗子市逗子五丁目二番十六号

「逗子市まちづくり課 瓦版係」

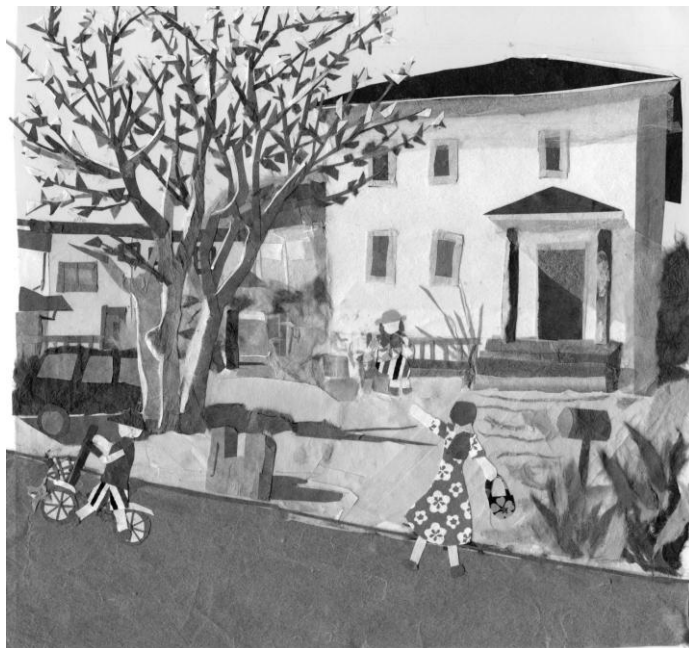
電話 〇四六・八七三・一一一一

ファックス 〇四六・八七三・四五二〇

machi@city.zushi.kanagawa.jp

「新しい町並み」

近年逗子においても空き家が増加しています。また何時の間にか家がなくなり駐車場になっている所が目立つようになりました。一方で敷地の細分化が進み、ゆとりの無い建て詰まった町並が増えています。



緑に覆われた大きなお屋敷、生垣や石垣や竹垣の連なる町並みなど、昔ながらの魅力的な景観はめっきり少なくなりました。それは時代の圧力でもあり、それをくい止め、昔ながらの景観を守ることは難しい課題です。

今なお残る良好な景観を守る努力は必要ですが、一方で、昔ながらの景観に固執せず、時代に即した新たな魅力ある町並みの景観を創り出していく努力も求められています。

挿絵は私の好きな散歩道で見つけた魅力ある景観の例です。一つは住宅、一つは企業の保養施設です。共通した特徴は敷地を塀などで囲い込まず、道路に面して開放していることです。視覚的には道路と一体的なつくりとして、町並みにゆとりの空間を提供しています。

通りに向けて開かれた空間とそこに植えられたシンボリックな樹木がゆったりとした魅力あるスポットを創り出しています。

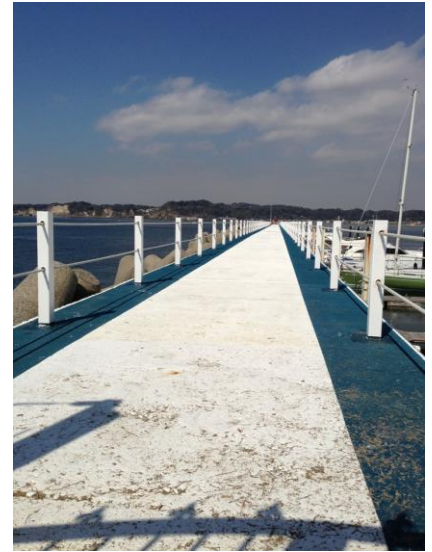
これに呼応して、同様な家が連続してつくられるようになったら、もう一つの、現代的で居心地の良い町並みが出来上がるのではないかと思うのです。そのような家づくりが沢山出てくることを願っています。



文 飯森昌文 貼り絵 池上ともね

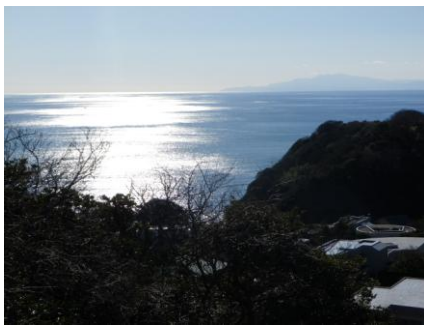
「18歳以下の部」の入選作品を発表します(^-)-☆ 全34作品の力作の中から選ばれたのは、下記の5点です。なんと、銀賞に選ばれたのは何と最年少応募の幼稚園に通う女の子(#^_^#) 一般の部も子供達に負けない作品・・・いえ、ちょっと負けそうでも、沢山の応募をお待ちしています!!!

逗子ステキ発見 検索  ネットでも公開中!



金賞 「初冬の逗子海岸」小笠原壮吾 中学二年
にぎやかな海もいいですが、静かな海が僕は好きです。

銀賞 「まっすぐ」諏訪部知花 幼稚園年少
逗子マリーナを散歩中、海にのびるまっすぐな道を発見!



銅賞 「キラキラ」諏訪部晴菜
小学二年
披露山の展望台から。海がキラキラ、きれいでした。

銅賞 「逗子校の自然」本田修也
高校一年
逗子高の自然を表すいい写真ができた。美しく、表現できていると思う。

銅賞 「静かにしてね。」中島優月
小学三年
魚をねらっているさぎのすがたがかっこよかったです。さつえいはさぎが動くのでたいへんでした。

逗子ステキ発見! 景観フォトコンテスト スポンサー紹介

